**ベネズエラ経済（2014年4月）**

**１　経済概要**

**（１）政府の各種政策・統計**

**●ベネズエラ中央銀行は，２０１３年GDP成長率を昨年末にマドゥーロ大統領が暫定（速報）値として発表していた１.６％から１.３％となった旨発表した。**

**●マドゥーロ大統領は，優先分野に対し，外貨未決済残高の３０％を上限に清算する意向を発表した。**

**（２）政府予算・財政**

**●経済・財務・公共銀行省によると，２０１４年第１四半期の政府支出は，前年同期の１,０７０億ボリバルに比し５１％増の１,６２０億ボリバルとなった。**

**●経済・財務・公共銀行省の２０１３年年次報告によると，２００５年～２０１３年における各種基金向け拠出額は総額１,２５０億米ドルとなった。**

**（３）石油・天然ガス産業**

**●石油鉱業省の２０１３年度年次報告によるベネズエラ石油公社（PDVSA）売上高は，前年の１,２４４.５９億米ドルに比し６.６％減の１,１６２.５６億米ドルとなった。**

**●官報４０３９２号は，１６７万３,７２９バレルの新規原油埋蔵が確認された旨公布した。**

**（４）自動車産業**

**●ベネズエラ自動車会議所（CAVENEZ）は，加盟全７社の３月の自動車生産台数が前年同月の６,５５４台に比し７８.５％減の１,４０８台となった旨発表した。**

**（５）その他産業**

**●中国・ベネズエラ二国間基金から６０４百万米ドルを拠出し２０１０年からプロジ**

**ェクトが開始されたJose Felix Ribas火力発電所が稼働した。**

**（６）外貨発給状況**

**●国家貿易機関（CENCOEX）は，法令遵守契約書で謳っていた条件を緩和し，米ドル建てデポジットをボリバル建て１００％のデポジット，輸入元国生産地としていた決済先への拘束性を緩和する旨発表した。**

**２　経済の主な動き**

1. **政府等の各種政策・統計**

**ア　経済指標（実績）**

**●２０１３年GDP成長率**

**ベネズエラ中央銀行は，２０１３年GDP成長率を昨年末にマドゥーロ大統領が暫定（速**

**報）値として発表していた１.６％から１.３％となった旨発表した。原油分野及び非原油分野におけるＧＤＰ成長率は，それぞれ０.９％，１.８％となった。なお，２０１３年第４四半期のＧＤＰ成長率は，１.０％であった。**

**（25日付ｴﾙ・ｳﾆﾍﾞﾙｻﾙ紙，ｴﾙ・ﾅｼｵﾅﾙ紙，ｴﾙ・ﾑﾝﾄﾞ紙）**

**●インフレ率**

**ベネズエラ中央銀行（BCV）は，３月のインフレ率が４.１％となり，本年および年間**

**累積インフレ率が，それぞれ１０.１％，５９.４％に達した旨発表した。**

**なお，物資不足率は２９.４％となった。**

**（24日付BCVﾌﾟﾚｽﾘﾘｰｽ，25日及び26日付ｴﾙ・ｳﾆﾍﾞﾙｻﾙ紙）**

**●失業率**

**国家統計局（INE）によると，３月及び４月の失業率は前年同月に比しそれぞれ０.１ポイント，０.８ポイント改善し，７.２％，７.１％となった。**

**（INEﾌﾟﾚｽﾘﾘｰｽ）**

**●食糧バスケット価格**

**労働者情報分析センター（CENDA：el Centro de Documentacion y Analisis para los Trabajadores）によると，３月の食糧バスケット価格は前月比６.３％増の７,２４５.１３ボリバルとなった。**

**（1日付CENDAﾌﾟﾚｽﾘﾘｰｽ）**

**●最低賃金引き上げ**

**マドゥーロ大統領は，５月１日から最低賃金を３０％引上げ４,２５１.３９ボリバルとする旨発表した。**

**（30日付ｴﾙ・ｳﾆﾍﾞﾙｻﾙ紙，ｴﾙ・ﾅｼｵﾅﾙ紙，ｳﾙﾃｨﾏｽ・ﾉﾃｨｼｱｽ紙）**

**●社会進歩指数**

**米国シンクタンクであるSocial Progress Imperativeは，社会進歩指数調査の結果を**

**発表し，ベネズエラは全１３２カ国中１３０位となった。**

**（7日付ｴﾙ・ｳﾆﾍﾞﾙｻﾙ紙）**

**イ　経済指標（見通し）**

 **●２０１４年GDP成長率**

**IMFは，２０１４年及び２０１５年のGDP成長率見通しをそれぞれマイナス０.５％，マイナス１.０％，インフレ率見通しをそれぞれ５０.７％，３８％と発表した。**

**（9日付ｴﾙ・ｳﾆﾍﾞﾙｻﾙ紙）**

**ウ　各種政策・規制・規則**

**●外貨清算計画**

**マドゥーロ大統領は，優先分野に対し，外貨未決済残高の３０％を上限に清算する意**

**向を発表した。**

**（24日付ｴﾙ・ｳﾆﾍﾞﾙｻﾙ紙，ｴﾙ・ﾅｼｵﾅﾙ紙，ｴﾙ・ﾑﾝﾄﾞ紙）**

**●新経済政策**

**ベネズエラ政府は，（国内）生産増加，物資の安定供給，及び公正価格の３つを柱とす**

**る新経済政策を発表した。**

**（23日付ｴﾙ・ｳﾆﾍﾞﾙｻﾙ紙，ｴﾙ・ﾅｼｵﾅﾙ紙，ｴﾙ・ﾑﾝﾄﾞ紙）**

**●「経済戦争」第二段階**

**マドゥーロ大統領は，石油依存モデルから脱却し，新たな経済モデルを推進するべく，経済戦争における戦いが第二段階に入り，国内生産，消費やサービスの供給と適正な価格での販売との均衡を取る，第二段階では基幹産業である石油，石油化学，建設，工業，農業，観光，繊維，鉱業，製造業，通信，ハイテクの１１分野の生産を満たすことを意図しており，政府は企業が必要とする資金・外貨を有している，コロンビアへの食糧密輸に関連するマフィアに対し，調査を進めている等発表した。**

**（28日付ｴﾙ・ｳﾆﾍﾞﾙｻﾙ紙，ｴﾙ・ﾅｼｵﾅﾙ紙）**

**●為替取極２８号公布，同１１号及び２６号の修正**

**官報４０３８７号は，「新為替取極２８号（Convenio Cambiario No.28）」を公布し**

**た。また，官報４０３９１号は，為替取極１１号及び２６号の修正を公布した。**

**（7日付官報40387号及び10日付40391号）**

**エ　組織・人事**

**●外貨管理委員会（CADIVI）機能の移管**

**官報４０３９３号は，２０１４年１２月３１日まで（1年の延長可）にCADIVI機能を国家貿易機関（CENCOEX）へ移管する旨公布した。**

**また，官報４０３９４号にて，CADIVI廃止委員会を創設する旨公布した。**

**（14日付官報40393号及び15日付官報40394号）**

**オ　貿易統計**

**●対コロンビア輸入**

**コロンビア国税・関税庁（DIAN）によると，２０１４年３月のベネズエラのコロンビアからの輸入額は前年同月の１５５.３百万米ドルに比し，４２.１％減の８９.９百万米ドルとなった。**

**（14日付ｴﾙ・ﾑﾝﾄﾞ紙）**

**カ　政府ミッション進捗**

**●住宅ミッション**

**住宅省によると，第１四半期の住宅建設数は前年同月の２３,７００戸に比し６５％減の８,１２８戸となった。なお，引き渡し戸数は，前年同期の１５,５７０戸に比し８,１２７戸となった。**

**（4日付及び7日付ｴﾙ・ｳﾆﾍﾞﾙｻﾙ紙）**

**キ　対外関係**

**●中国**

**マドゥーロ大統領は，大統領府にて，王毅中国外交部長と会合を行い，政治的相互信**

**頼関係の発展，様々なレベルにおける人的交流の促進，両国の関心分野における確固たる支持，及び農業，エネルギー，インフラ建設，テクノロジー等の分野における融資協力関係の強化等で合意に至った。**

**（21日付当地外務省ﾌﾟﾚｽﾘﾘｰｽ）**

**（２）政府予算・財政**

**ア 税収**

**●４月徴税額**

**租税監督庁（SENIAT）によると，４月の徴税額はそれぞれ前年比６１.３％増の３２０.**

**６億ボリバルとなった。**

**（28日付SENIATﾌﾟﾚｽﾘﾘｰｽ）**

**●所得税**

**租税監督庁（SENIAT）によると，第１四半期の所得税収は予算２４２億ボリバルに対**

**し，３５６.６億ボリバルであった。**

**（1日付ｴﾙ・ﾑﾝﾄﾞ紙及び2日付ｳﾙﾃｨﾏｽ・ﾉﾃｨｼｱｽ紙）**

**イ　追加予算**

**４月の国会（財務・経済開発委員会）による追加予算承認額は，４５３.３１億ボリバルとなった。**

**（1日付官報40384号，8日付官報40389号，22日付官報40396号，及び23日付官報40397号））**

**ウ　公的債務**

**●２０１３年残高**

**経済・財務・公共銀行省によると，２０１２年及び２０１３年の公的債務残高は以下**

**のとおりとなった。**

****

**（21日付ｴﾙ・ｳﾆﾍﾞﾙｻﾙ紙から当館表作成）**

**エ　２０１４年第１四半期政府支出**

**経済・財務・公共銀行省によると，２０１４年第１四半期の政府支出は，前年同期の**

**１,０７０億ボリバルに比し５１％増の１,６２０億ボリバルとなった。**

**（8日付ｴﾙ・ｳﾆﾍﾞﾙｻﾙ紙）**

**オ　ベネズエラ石油公社（PDVSA）によるベネズエラ中央銀行（BCV）向け債務残高**

**３月２８日時点におけるBCVによるPDVSA及び国営企業向け財政支援額は４,６１６億ボリバルに達している。**

**（11日付ｴﾙ・ｳﾆﾍﾞﾙｻﾙ紙）**

 **カ　法定準備率**

**官報４０３８２号は，４月１日から法定準備率を１％引上げ２１.５％とする旨公布し**

**た。**

**（1日付ｴﾙ・ﾅｼｵﾅﾙ紙）**

**キ　政府による助成金**

**エル・ムンド紙の調査によると，天然ガス及び電力分野に対する政府の助成金は，年**

**間でそれぞれ２４０億米ドル，４７億米ドルであった。**

**（2日付ｴﾙ・ﾑﾝﾄﾞ紙）**

**ク　各種基金向け拠出額**

**経済・財務・公共銀行省の２０１３年年次報告によると，２００５年～２０１３年に**

**おける各種基金向け拠出額は総額１,２５０億米ドルとなった。そのうち，国家開発基金（FONDEN）は総額１,１６７.１６億米ドル受領している。**

**なお，２０１３年国家開発基金（FONDEN）向けの拠出額は前年の１４６.０３億米ドルに比し，１４３.７２億米ドルとなった。**

**（10日付ｴﾙ・ﾑﾝﾄﾞ紙及び19日付ｴﾙ・ｳﾆﾍﾞﾙｻﾙ紙）**

**ケ　PDVSAによる社会開発ミッション向け拠出額**

**PDVSAによると，２０１３年の社会開発ミッション向け拠出額は前年の１２１億米ドル**

**に比し４１％減となる７２億米ドルとなった。**

**（20日付ｴﾙ・ｳﾆﾍﾞﾙｻﾙ紙）**

**（３）石油・天然ガス産業**

**ア　原油生産・精製・輸出・輸入動向**

**●生産量**

**OPECデータによると，３月のベネズエラの原油生産量は，前年同月の日量平均２７４.５万バレルに比し４.１％増の日量平均２８５.８万バレルであった。**

**（OPECﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ）**

**●精製量**

**石油鉱業省の２０１３年度年次報告によると，２０１３年の原油精製量は前年に比し**

1. **１６％増の日量平均１２９.９万バレルとなった。**

**（14日付ｴﾙ・ｳﾆﾍﾞﾙｻﾙ紙）**

**●石油製品輸出量**

**石油鉱業省の２０１３年度年次報告によると，２０１３年の石油製品輸出量は前年に比し４２％減の日量平均３２.３万バレルとなった。**

**（14日付ｴﾙ・ｳﾆﾍﾞﾙｻﾙ紙）**

**イ　対外取引**

**●対米国**

**米国エネルギー情報局によると，１月の米国によるベネズエラ産原油輸入量は，６８.７万バレルとなった。なお，９７年１月の同輸入量は，１９０万バレルであった。**

**（7日付ｴﾙ・ﾑﾝﾄﾞ紙）**

**●対ペトロカリベ**

**石油鉱業省による２０１３年年次報告によると，２０１３年のペトロカリベ向け原油輸出量は日量平均１２.２万バレル，インボイス金額は４４.３億米ドルとなった。なお，２０１３年にペトロカリベ諸国からの代物返済は，６０９百万米ドルであった。**

**（11日付ｴﾙ・ｳﾆﾍﾞﾙｻﾙ紙）**

**ウ　融資の合意状況**

**ベネズエラSuelopetrol社は，ベネズエラ石油公社（PDVSA）との合弁企業である**

**Petrocabimas社向けに６２５百万米ドルの融資の合意に至った。**

**（4日付ｴﾙ・ｳﾆﾍﾞﾙｻﾙ紙）**

**エ　石油鉱業省による２０１３年年次報告**

**石油鉱業省の２０１３年度年次報告によるベネズエラ石油公社（PDVSA）の営業内容及び決算概要以下のとおり。**

**●原油生産・輸出動向**

**・原油生産は，前年の２９１万バレル／日に比し０.７％減の２８９万バレル／日，輸出量は，前年の２５７万バレル／に比し７.０％減の２３９万バレル／日となった。**

**・国内石油需要は，火力発電用と自動車用の需要が伸び前年の５９.１万バレル／日に比し４.４％上昇し，６１.８万バレル／日となった。**

**●ＰＤＶＳＡ決算内容**

**＜損益計算書＞**

**・売上高は，前年の１,２４４.５９億米ドルに比し６.６％減の１,１６２.５６億米**

**ドルとなった。なお，ラミーレス石油鉱業大臣は，売上高減少の要因分析として，ベネズエラ産原油価格が２０１２年の１０３.４２米ドル／バレルから１０１.４０米ドル／バレルへ２ドル低下したことが影響した旨述べた。**

**・純利益は，前年の４２.１５億米ドルに比し，３７１％増の１９８.５３億米ドルと**

**なった。純利益増加は，２０１３年２月に１米ドル＝４.３ボリバルから１米ドル＝６.３ボリバルへの平価切下げによる為替差益９９.７億米ドル等を計上したことが影響した。**

**・社会開発費や国家開発基金（ＦＯＮＤＥＮ）等への拠出は，前年の１７３.３６億米ドルから１８.３％減の１４１.６８億米ドルとなった。**

**＜貸借対照表＞**

**・売掛金残高は，前年比５５％減の１８９.０８億米ドル，買掛金残高は，前年比１７％増の１９６.２５億米ドルとなった。**

**（10日付ｴﾙ・ｳﾆﾍﾞﾙｻﾙ紙及び14日付ｴﾙ・ﾑﾝﾄﾞ紙）**

**オ　新規原油確認埋蔵量**

**官報４０３９２号は，１６７万３,７２９バレルの新規原油埋蔵が確認された旨公布し**

**た。この結果，総原油確認埋蔵量は２,９８３.５億バレルとなった。**

**（11日付官報40392号）**

**（４）自動車産業**

**ア　生産・組立/販売台数**

**ベネズエラ自動車会議所（CAVENEZ）は，加盟全７社の３月の自動車生産台数が前年同月の６,５５４台に比し７８.５％減の１,４０８台となった旨発表した。**

**他方で，３月の国内生産車，輸入車の国内販売台数は，前年同月に比しそれぞれ７８.３％減の１,６５９台，９９.７％減の１５台となった。**

**（8日付CAVENEZ発表）**

**イ　２０１３年中国製Chery車輸入台数**

**商業省の２０１３年年次報告によると，中国との二国間協定に基づく中国製Chery車**

**の輸入台数は３,１８２台（１３４.５百万ボリバル相当）であり，うち１,６８０台が公務員向けに割り当てられた。**

**（14日付ｴﾙ・ﾅｼｵﾅﾙ紙）**

 **ウ　公正価格遵守契約への合意**

**ベネズエラトヨタ，MMC，及びChryslerは政府との間で公正価格遵守契約の合意に至った。**

**（25日付ｴﾙ・ｳﾆﾍﾞﾙｻﾙ紙，ｴﾙ・ﾅｼｵﾅﾙ紙，ｴﾙ・ﾑﾝﾄﾞ紙）**

**（５）その他**

**ア　電力**

**●電力システム強化**

**マドゥーロ大統領は，電力システム強化に向け３７３百万米ドルの予算を承認した。**

**（3月31日付ｴﾙ・ﾑﾝﾄﾞ紙）**

**●火力発電所の稼働**

**中国・ベネズエラ二国間基金から６０４百万米ドルを拠出し２０１０年からプロジ**

**ェクトが開始されたJose Felix Ribas火力発電所が稼働した。**

**（5日付ｴﾙ・ｳﾆﾍﾞﾙｻﾙ紙）**

**イ　セメント**

**カベージョ産業大臣は，セメント増産に向け８５０百万米ドルの投資予算を承認した。**

**（7日付ｴﾙ・ｳﾆﾍﾞﾙｻﾙ紙）**

**ウ　観光**

**観光業界の情報によると，２０１３年の海外旅行客受入数は，前年の７８２,６８６人**

**に比し１７.７％減の６４３,８２２人となった。**

**（14日付ｴﾙ・ｳﾆﾍﾞﾙｻﾙ紙）**

**エ　食糧**

 **オソリオ食糧大臣は，４月１日から開始された食糧供給システムへの登録者数が２５**

**９,７３２人となった旨述べた。**

**（14日付ｴﾙ・ｳﾆﾍﾞﾙｻﾙ紙）**

**オ　医療**

**国家統計局（INE）によると，２０１３年のキューバからの医薬品輸入額は１７６百万**

**米ドルとなった。**

**（20日付ｴﾙ・ｳﾆﾍﾞﾙｻﾙ紙）**

**（６）外貨発給状況**

**ア　SICAD**

**●SICAD１**

**ベネズエラ中央銀行（BCV）によると，４月のSICAD１による合計３度の競売実績は，**

**総額５億７,３４８万７,２１８.９７米ドルであった。**

**（BCV/CENCOEXﾌﾟﾚｽﾘﾘｰｽ）**

 **●SICAD２**

 **・Barclaysは，SICAD２による年間外貨供給量見通しを発表し，当初の１１６億米ドルから８４億米ドルへ修正した。**

**（7日付ｴﾙ・ｳﾆﾍﾞﾙｻﾙ紙）**

**・エコアナリティカ社によると，運用開始後２３日間での割当額は，９８７百万米ドルとなった。**

**（26日付ｴﾙ・ﾅｼｵﾅﾙ紙）**

**イ　法令遵守誓約書**

**国家貿易機関（CENCOEX）は，法令遵守契約書で謳っていた条件を緩和し，米ドル建て**

**デポジットをボリバル建て１００％のデポジット，輸入元国生産地としていた決済先への拘束性を緩和する旨発表した。**

**（2日付ｴﾙ・ｳﾆﾍﾞﾙｻﾙ紙）**

**ウ　２０１３年外貨発給額**

**２０１３年外貨発給額は以下のとおりとなった。**

****